

追手門学院大学 チアダンスペア 初開催の世界大会へ挑む 日本代表内定 FISU 世界大学選手権出場へ

追手門学院大学（大阪府茨木市：学長 川原俊明）の応援団チアリーダー部のチアダンスペアが日本代表に内定しました。今年10月にポーランドで初めて開かれる国際大学スポーツ連盟(FISU)主催の世界大学チアリーディング選手権に出場し、大学世界一に挑みます。

日本代表に内定したのは、国際教養学部4年の高山あかり選手と社会学部2年の五嶋友加里選手のペアです。



左：五嶋友加里選手 右：高山あかり選手



チアダンスでのポーズ「L モーション」
前：五嶋友加里選手 後：高山あかり選手

高山選手は地元茨木市出身で5歳からバトントワリングを始め、世界大会にも出場しました。本学入学後チアダンス部門の設立に関わり、現在にいたるまでチームの中心メンバーです。演技時間いっぱいまでベストパフォーマンスを継続できる持久力が強みで、「世界大会での演技を思いっきり楽しみ、日本代表、大学代表として入賞を目指したい」と話しています。

五嶋選手は福井市出身で高校時代は全米選手権5連覇を果たし、映画や現在放送中のドラマでも有名になった福井商業高校のチアダンス部に所属しました。表現力のポイントとなる高いジャンプが持ち味のチームの成長株で「世界大会出場で満足するのではなく、魅せる演技をして良い結果を残したい」と話しています。

日本代表の内定は、日本オリンピック委員会の指導の下、日本チアリーディング協会と日本スポーツチア&ダンス連盟において6月16日にエントリー大学に対して演技審査を行い、6月25日に最終選考会を行って決定したということです。

FISU 第1回 世界大学チアリーディング選手権大会は、10月5日と6日の2日間日程で、ポーランド・ウッチにて開催されます。

この資料の配付先：北摂記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立